

The Japan Securities Scholarship Foundation

NEWS

公益財団法人 日本証券奨学財団

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町1-5-8

東京証券会館3階

TEL03-3664-7113

35

Topics

- 平成28年度奨学生懇談会は、奨学生修了者の方を講師に迎えて、関東と関西で講演会を開催し、現役奨学生の皆さんに熱いメッセージが伝えられた。終了後の懇親会では、奨学生同士、奨学生と奨学生修了者（証券奨学同友会員）との懇親が図られ、盛況裡に終わりました。
- 証券奨学同友会では、地方7大学において大学所在県で集いを開催し、証券奨学同友会員の多数の参加を得て、同友会員同士、同友会員と現役奨学生との懇親が大いに図られ、世代を超えたつながりができました。
- 財団のホームページは、リニューアル後、公式サイトで公開情報の充実を図り、関係者の専用サイトで情報交換に活用できます。関係者の皆様の利用をお願い申し上げます。

本号の主な内容

| | |
|----------------------|----|
| ●平成27年度（第41回）奨学生修了式 | 2 |
| ●平成28年度（第43回）奨学金授与式 | 4 |
| ●平成28年度研究調査・出版助成金受給者 | 6 |
| ●平成28年度奨学生懇談会 | 7 |
| ●奨学生と証券奨学同友会員との懇親会 | 8 |
| ●証券奨学同友会の活動 | 9 |
| ●証券奨学同友会 大学別の集い | 10 |
| ●ホームページの利用のお願い | 11 |
| ●寄附金御芳名 | 14 |
| ●ご寄附のお願い | 14 |
| ●寄附金を支出したとき | 15 |
| ●事務局だより | 16 |



東日本大震災の被害に遭われた皆様へ

平成23年3月11日に発生いたしました「東日本大震災」は東北各地に甚大な被害を与えました。東日本大震災で被災され、亡くなられた方々にご遺族に心よりお悔やみ申し上げます。また、被害を受けた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈り申し上げます。

平成27年度
(第41回)

奨学生修了式

平成28年3月11日(金)
千代田区一ツ橋「如水会館」

平成27年度の奨学生修了式は、平成28年3月11日(金)、東京・千代田区一ツ橋の「如水会館」において挙行されました。

平成28年3月に奨学生を修了されました53名の皆さん、おめでとうございます。ご来賓として奨学生推薦大学の副学長・学生部長等、本財団の役員・評議員・選考委員等、さらに奨学生修了者で組織される証券奨学同友会の幹事等多数の臨席を賜りました。

本年度の修了式は、昭和50年の第1回から数えて41回目になり、修了者総数は3,483名となります。



日時 平成28年3月11日(金)午後3時
会場 東京 千代田区一ツ橋 如水会館

次 第

■ 開 式

- 一. 挨拶 理 事 長 伊 藤 俊 明
- 一. 挨拶 理 事 藤 田 誠 一
奨学生選考委員
- 一. 奨学生修了証書及び記念品授与
- 一. 祝 辞 東 北 大 学 小 田 中 直 樹
総長特別補佐
- 一. 祝 辞 証 券 奨 学 同 友 会 高 田 と し 子
代 表 幹 事
- 一. 謝 辞 奨 学 生 修 了 者 代 表 澤 田 彩
大 阪 市 立 大 学 博 士 課 程

(敬称略)

■ 閉 式

引き続き懇親会

以 上





平成 27 年度大学別修了者数

| 大学名 | 修了 | 大学名 | 修了 |
|----------|------|---------|-------|
| 北海道大学 | 2(1) | 横浜国立大学 | 2 |
| 東北大学 | 1 | 新潟大学 | 3 |
| 筑波大学 | 1 | 名古屋大学 | 3 |
| 東京大学 | 1 | 名古屋市立大学 | 2 |
| 東京工業大学 | 3 | 京都大学 | 2 |
| お茶の水女子大学 | 0 | 同志社大学 | 1(1) |
| 一橋大学 | 1 | 立命館大学 | 3(1) |
| 首都大学東京 | 1(1) | 大阪大学 | 1(1) |
| 慶應義塾大学 | 2(1) | 大阪市立大学 | 2 |
| 上智大学 | 3 | 関西大学 | 2 |
| 中央大学 | 3 | 関西学院大学 | 2 |
| 日本大学 | 1 | 神戸大学 | 2(1) |
| 法政大学 | 1 | 広島大学 | 1 |
| 明治大学 | 2 | 九州大学 | 0 |
| 立教大学 | 2 | | |
| 早稲田大学 | 3 | 総合計 | 53(7) |

※ () は留学生数で内書きである。

平成 27 年度奨学生修了者の就職・進学状況

| 区分 | 大学院生 | | 大学生 | 合計 | 備考 |
|---------|------|------|-----|----|--|
| | 博士課程 | 修士課程 | | | |
| | 名 | 名 | 名 | 名 | |
| 1. 就職 | | 12 | 18 | 30 | |
| (内訳) | | | | | |
| 一般企業 | | 9 | 13 | 22 | { 三菱UFJモルガン・スタンレー証券 みずほフィナンシャルグループ等 |
| 教育・研究機関 | | 1 | 1 | 2 | { 学校法人芦屋みどり幼稚園 南京大学 |
| 公務員 | | | 3 | 3 | { 国家公務員 1名 地方公務員 2名 |
| その他 | | 2 | 1 | 3 | { 中小企業基盤整備機構、 有限責任監査法人トーマツ等 |
| 2. 進学 | | 2 | 13 | 15 | { 自大学院 8名 他大学院 7名 |
| 3. その他 | 2 | 3 | 3 | 8 | |
| 計 | 2 | 17 | 34 | 53 | |

※「(3) その他」は、オーバードクター等在学者及び進路未定者である。

平成28年度(第43回) 奨学金授与式

平成28年7月15日(金) 千代田区一ツ橋「如水会館」

平成28年度の「奨学金授与式」は、平成28年7月15日(金)午後3時から東京都千代田区神田一ツ橋の「如水会館」において挙行されました。本年度採用された奨学生は、30大学の奨学生60名の皆さんです。おめでとうございます。

来賓として推薦依頼大学の副学長、学生部長及び奨学担当者、当財団役員、評議員、さらには奨学生の選考に当たられた奨学生選考委員の先生方など多数の臨席を賜りました。

本年度の奨学生授与式は昭和49年度の第1回から数えて43回目となりますが、本年度採用の奨学生を含めた採用奨学生の総数は3,687名に達しています。



日時 平成28年7月15日(金)午後3時
会場 東京 千代田区一ツ橋 如水会館

次 第

開 式

- 一. 挨拶 理事長 伊藤俊明
- 一. 挨拶 評議員 奨学生選考委員長 小林康夫
- 一. 奨学生証書授与
- 一. 祝辞 北海道大学 理事・副学長 新田孝彦
- 一. 謝辞 奨学生代表 中央大学大学院 博士課程 伊藤徳子 (敬称略)

閉 式

引き続き懇親会

以上



平成28年度大学別採用者数

| 大学名 | 採用 | 大学名 | 採用 |
|----------|------|---------|-------|
| 北海道大学 | 3 | 横浜国立大学 | 1 |
| 東北大学 | 3 | 新潟大学 | 3 |
| 筑波大学 | 1 | 名古屋大学 | 2 |
| 東京大学 | 1 | 名古屋市立大学 | 2 |
| 東京工業大学 | 2 | 京都大学 | 2 |
| お茶の水女子大学 | 2(1) | 同志社大学 | 1(1) |
| 一橋大学 | 2 | 立命館大学 | 3(1) |
| 首都大学東京 | 2 | 大阪大学 | 2(1) |
| 慶應義塾大学 | 2(1) | 大阪市立大学 | 2(1) |
| 上智大学 | 1 | 関西大学 | 2 |
| 中央大学 | 2 | 関西学院大学 | 2 |
| 日本大学 | 2 | 神戸大学 | 2(1) |
| 法政大学 | 2 | 広島大学 | 2 |
| 明治大学 | 2 | 九州大学 | 2 |
| 立教大学 | 3 | | |
| 早稲田大学 | 2 | 総合計 | 60(7) |

※()は留学生数で内書きである。



「奨学生推薦大学連絡会」

授与式の式典に先立ち、午後2時より「奨学生推薦大学連絡会」が開催されました。

同連絡会は、毎年、奨学生選考委員会委員長及び委員により奨学生推薦大学の関係者に対する当年度の奨学生選考の経緯等についての説明と、相互の意見交換を行い、もって資質優秀な学生の推薦をお願いし、また奨学生への支援に関し連携を図るために開催しております。

本年度も推薦大学の副学長、学生部長をはじめとする奨学担当の皆様にご参加いただき、佐々木正峰奨学生選考委員会委員長を筆頭とした奨学生選考委員及び財団事務局との間で活発な意見交換が繰り広げられました。



平成28年度研究調査・出版助成金受給者

平成28年度の研究調査助成金受給者は、11件を選定して助成金額1,080万円を決定して給付いたしました。また、研究出版助成金受給者は、5件を選定して助成金額500万円を決定し、刊行時に給付いたしました。

◇平成28年度(第43回)研究調査助成金受給者

平成28年度の研究調査助成金は、助成金募集額1,000万円として、助成対象分野を証券金融経済分野（証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会）の研究事案に絞り、また研究者の募集対象を一般の民間研究機関の研究まで広げて、平成28年4月から6月末まで募集を行い、そ

の結果、27大学から30件、申請金額3,026万円の応募があり、同年8月1日で11件、助成金額1,080万円の助成金受給者を決定し、給付いたしました。

平成28年8月1日決定
公益財団法人 日本証券奨学財団

| 研究調査課題 | 研究代表者 | 研究形態 | 助成金額 |
|--|-----------------------------------|------|---------|
| 中小規模の製造企業におけるICT化・IoT化の調査と工場支援のための情報システムの開発 | 名古屋工業大学工学部・社会工学科・経営システム分野教授 荒川 雅裕 | 個人 | 100万円 |
| 日本銀行の非伝統的金融政策は实体经济へどのように波及したのか？—2000年以降の国際パネルデータにもとづく実証分析 | 成蹊大学経済学部教授 井上 智夫 | 共同 | 100万円 |
| 非伝統的金融政策の決定要因分析 | 亜細亜大学国際関係学部専任講師 太田 瑞希子 | 個人 | 100万円 |
| 不動産証券化の地域的偏在要因と地方都市での拡大にむけた社会・経済的課題に関する研究 | 島根大学法政学大学院准教授 菊池 慶之 | 共同 | 89万円 |
| 社会保険料の事業主負担賦課と企業の雇用行動の関係に注目して、社会保険に係るどのような法政策が雇用の正規化の実現に効果的であるかを実証的に明らかにすること | 東京大学法学部政治学助 楠本 敏之 | 個人 | 100万円 |
| 民事訴訟制度に対する利用者評価の変化とその規定因の分析 | 早稲田大学法務研究科教授 菅原 郁夫 | 共同 | 91万円 |
| 災害リスク時における社会福祉法人およびNPO法人の社会貢献のあり方に関する調査研究—熊本地震を事例として | 九州大学人間環境学大学院教授 高野 和良 | 共同 | 100万円 |
| 社員と上司の行動の変化が生産性に及ぼす影響 | 一橋大学経済学研究所教授 都 留 康 | 共同 | 100万円 |
| 伝統と革新—産業集積としての京都の構造解明に関する経済史的研究 | 神戸大学経済学研究科教授 橋野 知子 | 個人 | 100万円 |
| 多国籍企業課税の日米欧比較と「グローバル・タックスレジーム」の生成に関する研究 | 京都大学経済学研究科教授 諸 富 徹 | 共同 | 100万円 |
| 日本企業におけるM&A活動と銀行・企業関係の影響 | 一橋大学商学大学院教授 安田 行宏 | 共同 | 100万円 |
| 11件 | — | | 1,080万円 |

◇平成28年度研究出版助成金受給者

平成28年度の研究出版助成金は、助成金募集額500万円として、研究調査助成金と同様に、助成対象分野を証券金融経済分野（証券、金融、財務・会計、企業・経営、法律、経済、社会）の研究事案に絞り、募集対象を昨年同様大学の研究者及び一般の民間研究機関の研究のとし、平成28年6月

から9月末まで募集を行い、その結果、6大学1学会から7件、申請金額700万円の応募があり、同年11月10日で5件、助成金額500万円の助成金受給者を決定し、給付を予定しています。

平成28年11月10日決定
公益財団法人 日本証券奨学財団

| 研究出版物タイトル | 出版代表者(著者) | 出版形態 | 助成金額 |
|---|----------------------------------|------|-------|
| インダストリー・リレーションズの課題—企業情報開示における時間軸と外部評価の視点から— | 光産業創成大学院大学光産業創成研究科准教授 姜 理 恵 | 単著 | 100万円 |
| プラットフォーム企業のグローバル戦略 | 筑波大学ビジネスサイエンス系教授 立 本 博文 | 単著 | 100万円 |
| ポスト・ケインズ派経済学—マクロ経済学の革新を求めて | 名古屋大学経済学大学院教授 鍋 島 直 樹 | 単著 | 100万円 |
| グリーンズパンの隠し絵—中央銀行制の成熟と限界 | 関西大学経済学部非常勤講師 村 井 明 彦 | 単著 | 100万円 |
| 証券事典 (証券経済学会、(公財)日本証券経済研究所 編) | 証券経済学会創立50周年記念事業準備委員会委員長 佐 賀 卓 雄 | 共著 | 100万円 |
| 5件 | — | | 500万円 |

平成28年度 奨学生懇談会

「奨学生懇談会」は、大学・学主・専攻・年次を異にする奨学生相互の交流をもって親睦を図るため、関東及び関西において開催しております。また、平成24年度からより多くの奨学生との交流・親睦を希望する意見が寄せられたことを踏まえ、関東地区では、東京近郊の15大学に北海道大学、東北大学、新潟大学の3大学を加えて18大学で開催し、一方関西地区では、京阪神の8大学に名古屋大学、名古屋市立大学、広島大学、九州大学の4大学を加えて12大学で開催しております。

平成28年度は、関東地区では平成28年11月11日東京証券会館において、また関西地区では平成28年11月18日北浜フォーラムにおいて、それぞれ奨学生修了者の方を講師にお迎えし、開催いたしました。

◇関東地区奨学生懇談会

平成28年11月11日(金)午後6時から東京証券会館8階ホールにおいて開催いたしました。出席者は、18大学の奨学生89名の他、同友会会員29名、大学関係者15名、財団関係者9名の総勢142名でありました。

懇談会は、講師に修了者であり、千葉県八千代市の市長秋葉就一様を迎え、「日本の地方制度とこれからの自治体運営」と題してご講演をいただきました。

なお、会場受付は、中央大学の奨学生の皆様にお手伝いいただきました。



◇関西地区奨学生懇談会

平成28年11月18日(金)午後6時から北浜フォーラムにおいて開催いたしました。

出席者は、12大学の奨学生62名の他、同友会会員17名、大学関係者12名、財団関係者3名の総勢94名でありました。

懇談会は、講師に修了者であり、また現在、京都大学大学院工学研究科原子核工学専攻 教授 佐々木隆之先生を迎え、「放射性廃棄物処分とこれからの世代」と題してご講演いただきました。

なお、会場受付は、大阪大学の奨学生の皆様にお手伝いいただきました。



なお、講演会におきまして、配付申し上げました資料は、関係者を対象とした専用サイトにて閲覧できますので、一度専用サイトに入場願います。

奨学生と証券奨学同友会会員との懇親会(第6回)

「奨学生と証券奨学同友会会員との懇親会」では、平成23年度から、毎年11月に関東地区及び関西地区で開催される奨学生懇談会が開催された後で、引き続いて開催しております。この懇親会では、奨学生同士、奨学生と証券奨学同友会会員、あるいは大学担当者や財団関係者との交流・親睦を通じて、世代や仕事の垣根を超えた「絆」で繋がることを強く期待しております。

平成28年度の証券奨学同友会の懇親会は、関東地区において本多関東地区幹事から心温まる挨拶と乾杯で始まり、懇親が盛り上がるなか廣見上智大学幹事により中締めがあり、また、関西地区において高田代表幹事から、心温まる挨拶と乾杯で始まり、懇親が盛り上がるなか西垣内関西地区幹事により中締めがあり、それぞれ盛況の中で終了いたしました。

以下の写真を見ていただくと、奨学生修了者の秋葉様、佐々木先生からの講演の興奮が冷めない懇親の様子が伺われます。

なお、進行・運営は、同友会会員の大学幹事や有志の皆様のご協力によるものであります。

●関東地区での懇親会



●関西地区での懇親会



証券奨学同友会 の活動

証券奨学同友会報
2016

第42号

本財団の奨学生修了者で組織する「証券奨学同友会」は、会員相互の交流・親睦をはかることを目的に活動しております。



1 活動

平成28年度の証券奨学同友会の活動は、日常多忙の中で代表幹事並びに関東地区幹事及び関西地区幹事を中心に、大学幹事や会員の皆様のご協力をいただき、会員同士及び会員と奨学生との交流活動を行っております。

2 機関誌の発行

機関誌「証券奨学同友会報」は、毎年東西の幹事が交代で会員から原稿を募り、編集して毎年9月に発行しております。今年度も第42号を平成28年9月に発行いたしました。

3 証券奨学同友会総会

(1) 関東地区総会

平成28年度の証券奨学同友会関東地区総会は、財団関係者を来賓に招き、11月11日(金)午後6時50分から東京証券会館において開催いたしました。

今年度は、会員29名が参集し、最初に本多関東地区幹事から挨拶があり、次いで廣見上智大学幹事から活動報告について説明が行われた後、全会一致で承認された。



(2) 関西地区総会

平成28年度の証券奨学同友会関西地区総会は、財団関係者を来賓に招き、11月18日(金)午後6時50分から北浜フォーラムにおいて開催いたしました。

今年度は、会員17名が参集し、最初に高田代表幹事から挨拶があり、次いで西垣内関西地区幹事から活動報告について説明が行われた後、全会一致で承認された。



(3) 財団への寄附金募集

証券奨学同友会では、「学生時代に温かい支援をくださった財団への感謝の気持ちを伝える機会のひとつにと位置づけたい。」とのご趣旨により、今年度も懇親会の開催に先立ち、財団の奨学生支援事業のための寄附金の募集を行い、その結果総勢44名の皆様から総額214,000円の寄附金を賜り、財団に寄付をいたしました。

本財団では、ご寄付を賜りました証券奨学同友会会員の皆様また当該ご寄付にご尽力いただきました幹事の皆様に対し、心からお礼申し上げます。

証券奨学同友会 大学別の集い

証券奨学同友会では、大学関係者の皆様のご支援ご協力をいただき、北海道大学、東北大学、新潟大学、名古屋大学、名古屋市立大学、広島大学、九州大学の7大学において、大学幹事が主体となって奨学生の参加を得て、平成28年11月から本年1月にかけて大学所在県で「証券奨学同友会の集い」を次のとおり開催いたしました。

集いでは、総勢126名（うち同友会員52名、奨学生42名）と多数の参加を得て、何十年ぶり再会に喜ぶ会員同士や各分野で活躍する会員と奨学生との懇親が深まり、世代を超えたつながりを持つことができ、今後の集いで再会を誓い合い、盛況裡に終了した。

北海道大学 (平28.11.22)



東北大学 (平28.11.15)



新潟大学 (平28.12.19)



名古屋大学 (平28.12.13)



名古屋市立大学 (平28.12.18)



広島大学 (平28.12.9)



九州大学 (平29.1.20)



上記の集い開催にあたり、ご支援ご協力を賜りました大学関係者の皆様に対し、お礼申し上げます。有難うございました

ホームページの利用のお願い

皆様の訪問をお待ちしております！

本財団では、昨年4月にホームページのリニューアルを行い、公式サイトでは財団の公開情報の充実を、また証券奨学同友会員と奨学生等の交流・懇親の促進を目指した専用サイトを設けております。

利用(訪問)されました皆様には、このホームページの訪問を機会に、本財団の事業活動に対して、ご理解いただけましたでしょうか。ご意見ご感想をお寄せください。

本財団は、今後も皆様に同ホームページに訪問をしていただき、事業活動に対してのご理解ご協力を賜りたく、鋭意努力いたします。

また、財団のトピックスニュースを関係者の皆様に早めにお知らせし再度訪問いただきたくメールマガジン「JSSF トピックスメール」を不定期ですが、配信いたしますので、ご利用いただければ幸いです。

一般サイト TOP

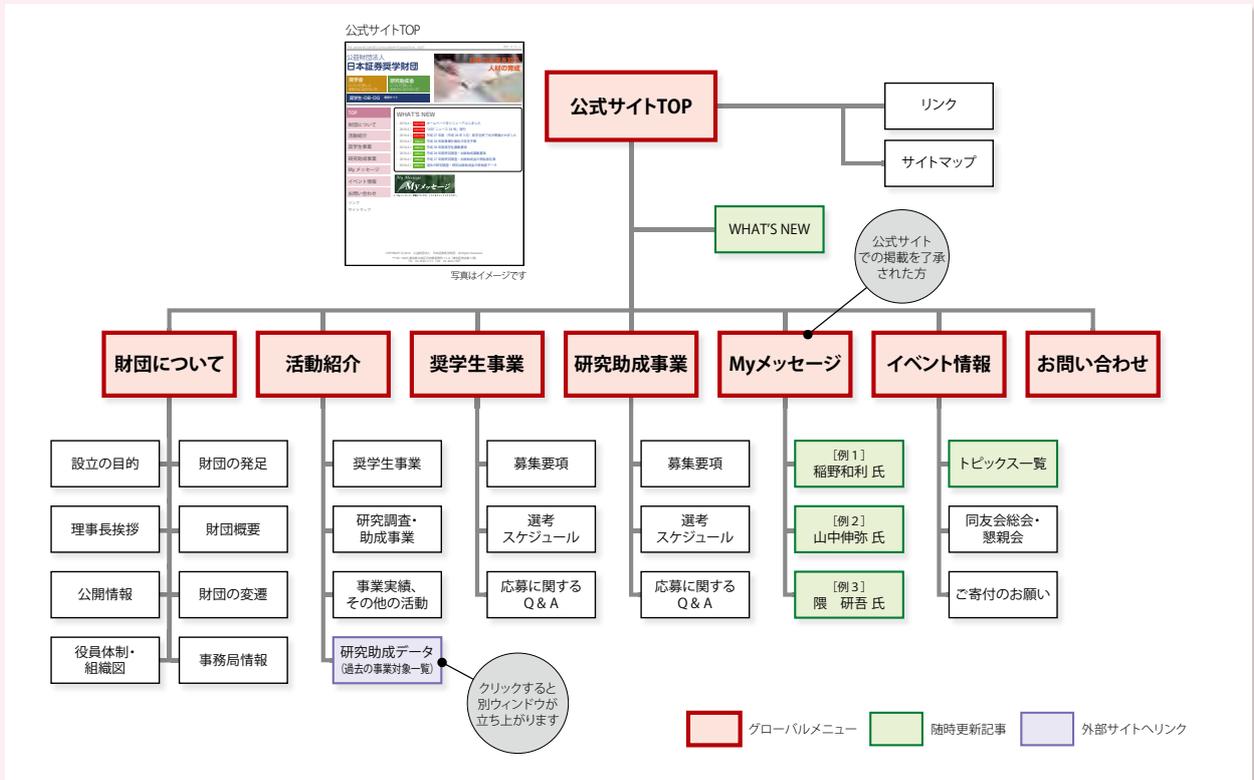


専用サイト TOP



ホームページの利用のお願い
皆様の訪問をお待ちしております！

一般サイト公式サイトマップ



寄稿者のお名前

- 山中 伸弥 様 京都大学 IPS 細胞研究所 所長・教授

- 隈 研吾 様 東京大学大学院・教授

- 稲野 和利 様 日本証券業協会 会長

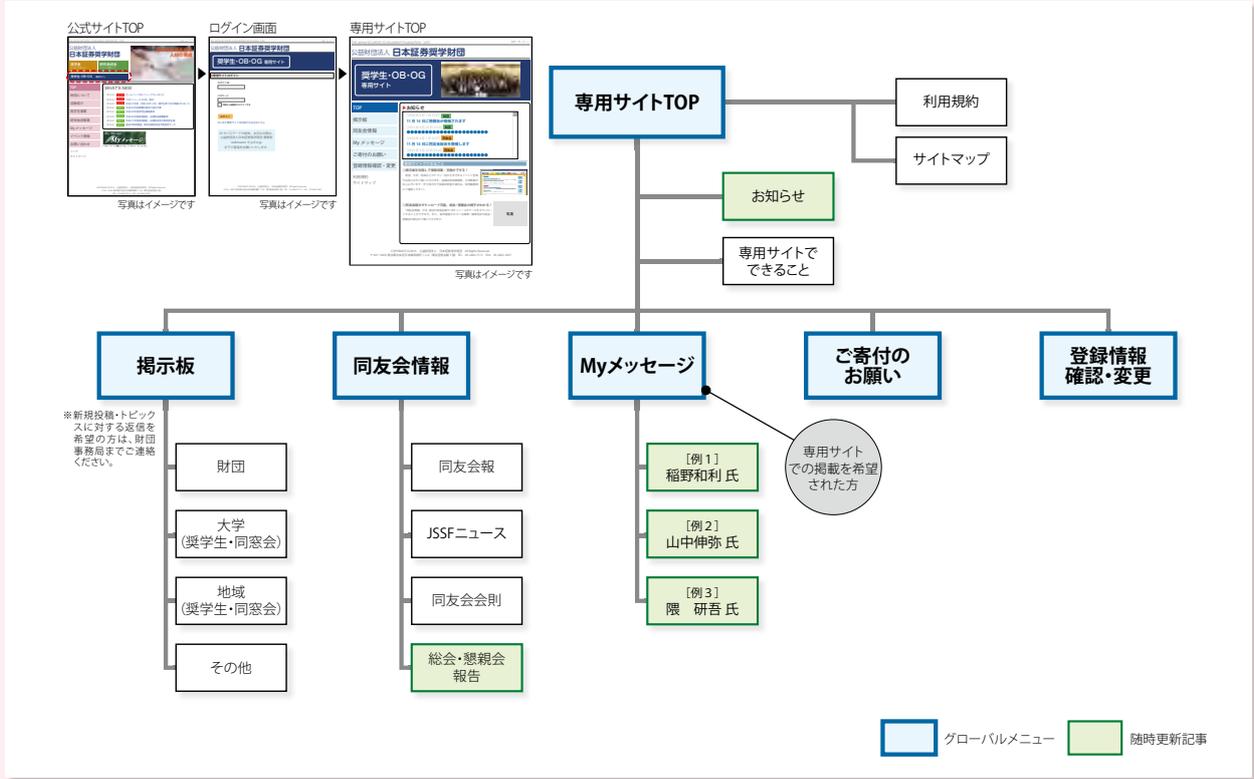
- 前 哲夫 様 大和証券株式会社 顧問
(日本証券業協会前会長)

- 西 美奈 様 証券奨学同友会員

Myメッセージ



専用サイト公式サイトマップ



寄稿者のお名前

- 証券奨学同友会 北海道大学幹事
- 証券奨学同友会 東北大学幹事
- 証券奨学同友会 新潟大学幹事
- 証券奨学同友会 名古屋大学幹事

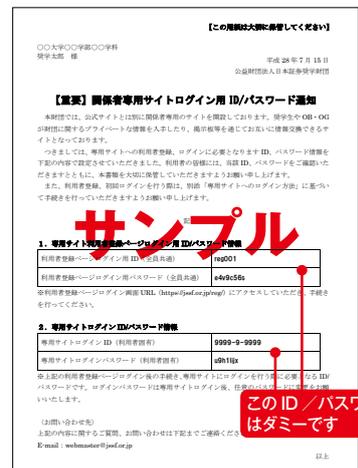
- 証券奨学同友会 名古屋市立大学幹事
- 証券奨学同友会 広島大学幹事
- 証券奨学同友会 九州大学幹事

専用サイトログイン方法

利用者登録の方法に関しては、専用サイトをご利用にあたっては、まずは利用者登録が必要となります。平成28年3月に財団から送付致しました封書にて「【重要】関係者専用サイトログイン用ID / パスワード通知」を通知し、利用者登録の方法についても別添で添付しております。

まだ、利用者登録がお済みでない方は、是非とも登録手続きをして頂きますよう、お願い申し上げます。

万が一、送付致しました文書がお手元の届いていない、もしくは紛失された方は、ID / パスワードを再発行させていただきますので、財団事務局までご連絡下さい。



寄附者御芳名

| 寄附年月日 | 御芳名 | 区分 | 金額(万円) | 御趣旨 |
|-------------------------|----------------------------|-----------|--------|--|
| 平28.5.26 | 匿名 | 個人 | 10 | 財団の奨学生事業のため |
| 平28.6.13 | 元日本取引所グループ 最高経営責任者 斉藤惇殿 | 個人 | 100 | 叙勲を記念としての寄附 |
| 平28.7.15 | 元奨学生 西垣内琢也殿 | 個人 | 4 | 財団の奨学生事業のため |
| 平28.10.28 | 匿名 | 個人 | 1 | 財団の奨学生事業のため |
| 平28.11.18 | 元奨学生 佐々木隆之殿 | 個人 | 4.5 | 財団の奨学生事業のため |
| 平28.11.13 ～ 28.11.25 | 証券奨学同友会 | 個人 44名 | 21.4 | 財団の奨学事業支援の一助として (同友会総会・懇親会への参加会費に代えて) |
| 平28.12.5 | 匿名 | 個人 | 2 | 財団の奨学生事業支援のため |
| 平28.12.12 | 匿名 | 個人 | 5 | 奨学金の御礼、財団の奨学生事業支援のため |
| 平28.12.19 | 匿名 | 個人 | 3 | 財団の奨学生事業支援のため |
| 平29.1.30 | 匿名 | 個人 | 1 | 財団の奨学生事業支援のため |
| 平29.2.27 | 匿名 | 法人 | 50 | 財団の奨学生事業支援のため |
| 平29.3.16 | 匿名 | 法人 | 50 | 財団の奨学生事業支援のため |

以上の皆様からご寄附をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、事業資金として大切に活用させていただきます。

ご寄附のお願い

現在、本財団は金融市場の低金利下の中で厳しい財政状況におかれています。これに伴い、今年度は、事業のより効率化かつ的確化並びに資源の適正な配分を目指し、事業の見直しや管理体制の改善を図り、よって経費削減となっております。

しかしながら、今後とも事業を続け、ひとりでも多くの資質優秀な大学生・大学院生を支援して、社会の各分野における指導的役割を担う人物を育成したいという財団の目的に賛同していただきたく、本財団関係者の皆様に、ご寄附・ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

なお、本財団は、特定公益増進法人等として定められておりますので、個人寄附及び法人寄附には税制上の優遇措置が講じられております。また、個人の方に係る税法上の広報情報を添付しましたので、参照願います。

●お問い合わせ先

日本証券奨学財団事務局

電話：03-3664-7113 Fax：03-3662-1607 E-mail:sec.office@jssf.or.jp

●お振込先

口座名義：コウエキザイダンホウジン ニホンショウケンショウガクザイダン

公益財団法人 日本証券奨学財団

口座番号：みずほ銀行 兜町証券営業部

普通預金 0510181

ご芳名を本財団の広報誌等に掲載させていただいております。なお、匿名を希望される方はその旨をお申し出下さい。

寄附金を支出したとき



寄附をすると税金が戻ってくると聞いたのですが…

個人が支出した寄附金の控除

国や地方公共団体、特定の公共法人などに寄附をした場合は、確定申告を行うことで、所得税及び復興特別所得税が還付される場合があります。

- 個人が特定寄附金を支出したときは、**寄附金控除**として所得金額から差し引かれます。
- 個人が支出した政治活動に関する寄附金のうち政党若しくは政治資金団体に対する寄附金又は個人が支出した認定NPO法人等若しくは公益社団法人等に対する寄附金については、①**寄附金控除(所得控除)**の適用を受けるか、②**寄附金特別控除(税額控除)**の適用を受けるか、どちらか有利な方を選ぶことができます。

①寄附金控除(所得控除)

寄附金控除は次の算式で計算します。

| | | | | |
|--------------------------|---|-----|---|--------|
| その年中に支出した 特定寄附金の額の合計額 | − | 2千円 | = | 寄附金控除額 |
|--------------------------|---|-----|---|--------|

注：特定寄附金の額の合計額は所得金額の40%相当額が限度です。

②寄附金特別控除(税額控除)

(i) 政党等寄附金特別控除は次の算式で計算します。

| | | | | | |
|-------------------------------|---|-----|-------|---|-------------|
| その年中に支出した政党等に対する 寄附金の額の合計額 | − | 2千円 | × 30% | = | 政党等寄附金特別控除額 |
|-------------------------------|---|-----|-------|---|-------------|

◎ 100円未満の端数切捨て

(ii) 認定NPO法人等寄附金特別控除は次の算式で計算します。

| | | | | | |
|------------------------------------|---|-----|-------|---|---------------------|
| その年中に支出した認定NPO法人等 に対する寄附金の額の合計額 | − | 2千円 | × 40% | = | 認定NPO法人等 寄附金特別控除 |
|------------------------------------|---|-----|-------|---|---------------------|

◎ 100円未満の端数切捨て

(iii) 公益社団法人等寄附金特別控除は次の算式で計算します。

| | | | | | |
|--|---|-----|-------|---|--------------------|
| その年中に支出した公益社団法人等に対する 寄附金(一定の要件を満たすもの)の額の合計額 | − | 2千円 | × 40% | = | 公益社団法人等 寄附金特別控除 |
|--|---|-----|-------|---|--------------------|

◎ 100円未満の端数切捨て

注1：(i)～(iii)の寄附金の額の合計額は原則として所得金額の40%相当額が限度です。

注2：(i)の特別控除額はその年分の所得税額の25%相当額が限度です。

(ii)(iii)の特別控除額の合計額はその年分の所得税額の25%相当額が限度です。

注3：上記①及び②の算式中の2千円は、寄附金控除と寄附金特別控除(税額控除)とを合わせた金額です。

控除を受けるための手続

- 寄附金控除又は寄附金特別控除額(税額控除)に関する事項を記載した確定申告書を提出する必要があります。
- 政治活動に関する寄附金については、選挙管理委員会等の確認印のある「寄附金(税額)控除のための書類」を申告書に添付する必要があります。
- 一定の特定公益増進法人に対する寄附や、特定公益信託の信託財産とするための支出については、その法人又は信託が適格であることなどの証明書の写し又は認定書の写しを申告書に添付するか、申告書提出の際に提示する必要があります。
- 寄附金特別控除(税額控除)の適用を受けるときは、上記書類を申告書に添付する必要があります。
- その他の寄附については、寄附した団体等から寄附金の受領証などの交付を受けて、申告書に添付するか、申告書提出の際に提示する必要があります。

注：確定申告書を提出するときまでに「寄附金(税額)控除のための書類」が間に合わない場合は、この書類に代えて、寄附金の受領証の写しを添付して確定申告し、後日、この書類が交付され次第速やかに所轄税務署に提出します。

特定寄附金とは

①国又は地方公共団体に対する寄附金

注：学校の入学に関して寄附するものは除きます。
次の②及び③においても同じです。

②指定寄附金

公益社団法人、公益財団法人その他公益を目的とする事業を行う法人又は団体に対する寄附金で、広く一般的に募集され、かつ公益性及び緊急性が高いものとして、財務大臣が指定したもの

③ 特定公益増進法人に対する寄附金

公共法人等のうち、教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に著しく寄与するものと認められた特定公益増進法人に対する寄附金で、その法人の主たる目的である業務に関連するもの

④ 特定公益信託の信託財産とするために支出した金銭

主務大臣の証明を受けた特定公益信託のうち、その目的が教育又は科学の振興、文化の向上、社会福祉への貢献その他公益の増進に著しく寄与すると認められる一定の公益信託の信託財産とするために支出した金銭

⑤ 認定 NPO 法人等（※）に対する寄附金

特定非営利活動法人のうち一定の要件を満たすものとして認められたものなど（認定 NPO 法人等）に対する寄附金で、特定非営利活動に係る事業に関連するもの

※「認定 NPO 法人等」とは、所轄庁の認定を受けた認定 NPO 法人（仮認定を受けた仮認定 NPO 法人を含みます。）又は国税庁長官の認定を受けた旧認定 NPO 法人をいいます。認定 NPO 法人等の一覧は、内閣府ホームページ（www.npo-homepage.go.jp）をご覧ください。

注：認定の有効期間内に支出する寄附金について適用されます。

⑥ 政治活動に関する寄附金

個人が支出した次の団体等に対する政治活動に関する寄附金のうち、一定の要件に該当するもの

- (1) 政党、(2) 政治資金団体、(3) その他の政治団体で一定のもの、(4) 一定の公職の候補者

⑦ 特定新規中小会社が発行した株式の取得に要した金額など

【参考】

個人住民税における寄附金税額控除について

都道府県・市区町村や住所地の都道府県共同募金会・日本赤十字社支部に対する寄附金、住所地の都道府県・市区町村が条例で指定した寄附金を支出した場合は、住民税（翌年度）において寄附金税額控除を受けることができます。この寄附金税額控除を受けるには、原則として所得税及び復興特別所得税の確定申告又は住所地の市区町村に簡易な申告書による申告を行っていただく必要があります。

注 1：住民税の控除を受けるために、住所地の市区町村に簡易な申告書による申告のみを行った場合は所得税の寄附金控除は受けられませんので、ご注意ください。

注 2：確定申告の不要な給与所得者等がふるさと納税（都道府県・市区町村に対する寄附）を行う場合、確定申告を行わずにふるさと納税の寄附金控除を受けられる仕組み「ふるさと納税ワンストップ特例制度」があります。詳しくは、お住まいの市区町村の窓口にお尋ねください。

平成28年度の年間事業日誌

| 年月別 | 事業内容 |
|-------------|--|
| 平成 28 年 4 月 | ・ ホームページのリニューアル ・ 新規採用奨学生の推薦大学から応募受付 ・ 事務所の引越し |
| 5 月・6 月 | ・ 新規採用奨学生の選考・決定 |
| 7 月 | ・ 奨学金授与式および推薦大学連絡会の開催 |
| 8 月・9 月 | ・ 研究調査助成金受給者の選定・決定 ・ 証券奨学同友会報の編集・発行 |
| 10 月・11 月 | ・ 研究出版助成金受給者の選定・決定 |
| 11 月 | ・ 奨学生懇談会の開催（関東・関西） ・ 懇談会終了後に証券奨学同友会定期総会、懇親会の開催 ・ 証券奨学同友会大学別集いの開催（東北大学、北海道大学） |
| 12 月 | ・ 証券奨学同友会大学別集いの開催（広島大学、名古屋大学、名古屋市立大学、新潟大学） |
| 平成 29 年 1 月 | ・ 証券奨学同友会大学別集いの開催（九州大学） |
| 3 月 | ・ 奨学生修了式の開催 ・ JSSF ニュースの編集・発行 |

事務局だより

平成28年度も多く関係者の皆様に財団の運営等にご理解およびご支援を賜り、有難うございます。

昨年4月は、桜の満開を見ながら奨学生候補者からの応募を受け付け、6月に新しい奨学生をお迎えでき、関係者一同大変嬉しいときをいただきました。また、同友会支援の活動として、昨年8月より準備し、11月から本年1月にかけて証券奨学同友会大学別の集いを開催し、奨学生一期生はじめ多数の参加を得て、世代を超えた会員同士や会員と奨学生との懇親でかたい繋がりができました。今後の再会を誓い合う場面を数多く見られ、大変嬉しいひと時でした。

ただ、参加者皆さんの笑顔や雰囲気を伝えようと集合写真の撮影に奮戦努力しましたが、ご覧のとおり事務局の課題として残る残念なものとなりました。

事務局では、今後も、事業活動の状況を適宜適切にお伝えするよう努力しますので、よろしくご理解ご支援の程お願い申し上げます。

JSSFニュース、Webサイトについて、皆様からのご意見、ご感想をお寄せいただきたくお願い申し上げます。